

先人に学び、この国の未来を想う。



NIPPON 一歩塾

東日本大震災発災から1年6ヶ月が過ぎました。
復興は本当に始まっているのだろうか。
まだまだ実感はありません。
しかしこの間、温度差はどんどん大きくなっています。
もはや東日本に課題があるのではなく、通常の日本の課題が、
この東日本に縮図となって現れているのだと思います。
私たちは、もっともっと視野を広げ、
力を合わせて将来と向き合う必要があります。
そのために、先人達の貴重な経験を学びとし、
自分たちのあり方をそれぞれが考えていくための
きっかけとなることを願い開催します。

■ 開講スケジュール

*第2回目以降は仮題です。予定が変更となる場合があります。

第1回	平成24年 10月14日(日)	13:00～17:00	「先人からの学び」— はじめの一步 私のあり方
	1時間目	13:00～14:45	講師：愚安亭遊佐氏 「ひとり芝居」
	2時間目	15:00～16:00	講師：遠藤 邦夫氏 「水俣病センター相思社」
	3時間目	16:00～17:00	座談会 [愚安亭遊佐 遠藤 邦夫 木瀬 公二 (朝日新聞記者・遠野まごころネット理事)]
第2回	11月 4日(日)	13:00～17:00	「自然の恵」— 森林と水と土と生命
第3回	11月25日(日)	13:00～17:00	「協同社会・生活と福祉」— 現場で考える私たちの課題
第4回	12月16日(日)	13:00～17:00	「実践の農業と漁業」— 個性ある農業・日本の漁業
第5回	平成25年 1月16日(日)	13:00～17:00	「開拓者」— 企業家とエネルギー
第6回	2月17日(日)	13:00～17:00	「強靱な社会と教育」— 若者が未来を変える
第7回	3月10日(日)	13:00～17:00	「震災後2年・東日本」— 復興の今とこれから

愚安亭 遊佐 (ぐあんていゆうざ) プロフィール

1946年青森県むつ市関根浜に漁師の網元の八人兄弟の五男として生まれる。「劇団三十人会」を経て、自ら「劇団ほかい人群」を結成。1979年、母の死をきっかけに、ひとり芝居「人生一発勝負」を作り、全国芝居行脚の旅に出る。「人群れる所、常に劇場を」と全国津々浦々1,200回以上の公演を重ねる。1999年、第54回文化庁芸術祭優秀賞を「人生一発勝負」の演技で受賞。

遠藤 邦夫 (えんどうくにお) プロフィール

水俣病多発地から丘を少し登ったところに相思社があります。眼下には不知火海がゆったりとたたずんでいます。半世紀ほど前、不知火海に面した漁村に得体の知れない病気が発生しました。病に冒された人々は近隣の人々のさげすみの目を避けるようにひっそりと暮らしていました。なぜ、罪科のない人々が理不尽な苦しみを強いられなければならないのでしょうか。水俣病事件は一企業の犯罪にはとどまりません。便利で豊かな生活を追い求めるといふ、ごく当たり前とされる行為が歴史の必然として産み落とした事件でした。水俣病患者は歴史の、人間の欲望の犠牲者だったのです。半世紀を経た今も人々は便利さ・豊かさという呪縛から解放されてはいません。水俣病事件は人間のあり方を根元的に問い続けています。水俣病事件の真実と意味を明らかにすることは人類の未来にとって重要な意味があります。相思社はそのために努力を続けています。

■ 会 場

あえりあ遠野 中ホール

【会場アクセス】

あえりあ遠野 〒028-0524 岩手県遠野市新町1-10 TEL:0198-60-1703

●お車でお越しの場合

東北自動車道花巻JCTより釜石自動車道へ
▷釜石自動車道「東和IC」
▷東和ICより国道283号線を遠野方面へ約35分

●電車でお越しの場合

東北新幹線「新花巻駅」経由
JR釜石線「遠野駅」下車徒歩8分



主催: NPO法人 遠野まごころネット 共催: いわて連携復興センター



NPO法人 遠野まごころネット

〒028-0527 岩手県遠野市大工町10-10 遠野浄化センター内 Tel:0198-62-1001 Fax:0198-62-1002
E-mail:tonomagokoro@gmail.com HP:http://tonomagokoro.net/